



2015年3月期第2四半期決算(累計) プレゼンテーション資料

2014年10月
大阪ガス株式会社

I. 15.3期第2四半期実績と通期見通し

インターネットを通じて定期的に経営情報を発信しています : 下記のURLで、決算短信、アニュアルレポート、説明会資料等を閲覧・ダウンロードすることが可能です。<http://www.osakagas.co.jp/ir/>

「見通し」に関する注意事項 : このプレゼンテーションには、将来の業績に関する見通し、計画、戦略等が含まれており、これらは現在入手可能な情報から得られた当社グループの判断に基づいております。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績の見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、日本経済の動向、急激な為替相場・原油価格の変動並びに天候の異変等があります。

ガス販売量に関する注記 : 全て、基準熱量を45MJ/m³として、表記しています。

連結ガス販売量に関する注記 : 名張近鉄ガス・豊岡エネルギー・新宮ガスは12月決算です。

四半期表記に関する注記 : 特に断りのない限り、「四半期」は「四半期累計期間」を表します。

Design Your Energy 夢ある明日を

 OSAKA GAS

本日は、お忙しいところ、当社の決算説明会にお集まりいただき、ありがとうございます。

また、平素は、当社事業につき、ご理解・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

ただ今から、2015年3月期 第2四半期決算と通期見通しについて、ご説明させていただきます。

15.3期第2四半期決算のポイント I

対前年同期比較

■ 概況

売上高	ガス販売量は減少したものの、LNG価格の上昇に伴い、原料費調整制度に基づくガス販売単価が上昇したことなどから、 前年比4.1%(273億円)増収の6,976億円。
経常利益	スライド差損が解消し差益に転じた(-96→+71億円)ことによるガス粗利益の増加などにより、 前年比21.3%(101億円)増益の578億円。
四半期純利益	投資有価証券売却益の計上等により、 前年比50.1%(158億円)増益の475億円。

■ ガス販売量(個別)

家庭用	前年比0.6%(5百万m³)減少の785百万m³。
商・公・医療用	需要開発による増加はあるものの、夏期の気温が前年より低く推移し、冷房需要が減少したことなどにより、 前年比5.7%(44百万m³)減少の730百万m³。
工業用	お客さま設備の稼働が減少したことや、一部IPPの契約満了に伴い、大口ガス供給→自家使用にカウント方法を変更したことなどにより、 前年比3.4%(72百万m³)減少の2,060百万m³。

Design Your Energy 夢ある明日を

OSAKA GAS

3

2015年3月期 第2四半期は、増収・増益の決算となりました。

連結売上高は、LNG価格の上昇に伴い、

原料費調整制度に基づくガス販売単価が上昇したことなどから、前年と比べて4.1%、273億円の増収となり、6,976億円となりました。

連結経常利益は、スライド差損が解消して差益に転じたことにより、

ガス粗利益が増加したことなどから、前年と比べて21.3%、101億円増益の、578億円となりました。

連結四半期純利益は、投資有価証券売却益を計上したことなどから、

前年と比べて50.1%、158億円増益の、475億円となりました。

大阪ガス個別のガス販売量について、家庭用は、

前年を0.6%下回る、7億8,500万m³となりました。

商業用・公用・医療用は、需要開発による増加はあるものの、

夏場の気温が前年より低く推移し、冷房需要が減少したことなどにより、前年を5.7%下回る、7億3,000万m³となりました。

工業用は、お客さま先の設備の稼働が減少したことや、

関係会社が行う一部のIPPでの契約満了を受けて、

大口ガス供給から自家使用にカウント方法を変更した影響などにより、

前年を3.4%下回る、20億6,000万m³となりました。

15.3期第2四半期決算のポイント II

対見通し比較

■ 概況

売上高	主にガス売上高が減少したことなどから、 見通しを1.7%(123億円)下回る6,976億円。
経常利益	スライド差益の拡大(+12→+71億円)によるガス粗利益の増加や、 費用の減少などにより、 見通しを19.3%(93億円)上回る578億円。

■ ガス販売量(個別)

家庭用	春先の水温が想定より高く推移し、給湯需要が減少したことなどにより、 見通しを1.5%(12百万m³)下回る785百万m³。
商・公・医療用	夏期の気温が想定より低く推移し、冷房需要が減少したことなどにより、 見通しを1.3%(10百万m³)下回る730百万m³。
工業用	お客さま設備の稼働減少などにより、 見通しを2.8%(60百万m³)下回る2,060百万m³。

■ 投資など

新規事業拡大投資	海外上流事業、国内電力事業の意思決定済案件を中心に、 上半期の 投資実行額は計390億円(年間計画額の35%) 。
----------	---

Design Your Energy 夢ある明日を

OSAKA GAS

4

続きまして、2015年3月期 第2四半期の決算を、7月に発表した見通しとの対比でご説明します。

連結売上高は、主にガス売上高が減少したことなどから、
見通しを1.7%、金額にして123億円下回りました。

連結経常利益は、スライド差益が拡大し、ガス粗利益が増加したことや、
ガス事業の費用が減少したことなどから、
計画を19.3%、金額にして93億円上回りました。

大阪ガス個別のガス販売量について、家庭用は、
春先の水温が想定より高く推移し、給湯需要が減少したことなどから、
見通しを1.5%下回りました。

商業用・公用・医療用は、夏場の気温が想定より低く推移し、冷房需要が減少したことなどにより、
見通しを1.3%下回りました。

工業用は、お客さま先の設備の稼働減少などにより、見通しを2.8%下回りました。

新規事業拡大投資は、海外上流事業、国内電力事業の意思決定済み案件を中心に、
390億円を実行しており、年間計画額の35%にあたる進捗となっています。

15.3期第2四半期ガス販売実績

45MJ/m ³	A. 15.3期 2Q	B. 14.3期 2Q	前年差 A-B	前年比 (A-B)/B	C. 15.3期 2Q見通し ^{※1}	見通し比 (A-C)/C
お客さま数(千件)	7,158	7,101	+57	+0.8%	7,139	+0.3%
新設工事件数(千件)	45	40	+6	+14.3%	39	+17.7%
家庭用1戸当り販売量(m ³ /月)	22.2	22.5	-0.3	-1.1%	22.6	-1.6%
個別						
家庭用	785	789	-5	-0.6%	797	-1.5%
商・公・医療用	730	774	-44	-5.7%	739	-1.3%
工業用	2,060	2,132	-72	-3.4%	2,120	-2.8%
業務用計	2,790	2,906	-117	-4.0%	2,859	-2.4%
他ガス事業者向け	221	220	+1	+0.5%	224	-1.2%
(うち大口供給)	(2,384)	(2,485)	(-101)	(-4.0%)	(2,455)	(-2.9%)
ガス販売量合計(百万m ³)	3,795	3,916	-120	-3.1%	3,880	-2.2%
連結ガス販売量	3,812	3,932	-120	-3.0%	3,896	-2.2%

※1 2014年7月29日公表値(2014年4月25日公表の当初計画値から変更していません)

Design Your Energy 夢ある明日を

 OSAKA GAS

ただ今ご説明しました、ガス販売実績を、こちらにまとめております。

連結ガス販売量は、
前年を3.0%下回り、見通しを2.2%下回る、38億1,200万m³となりました。

工業用分野を見てみますと、
化学、機械、ガラスなどの業種で、ガス販売量が前年を下回って推移しており、
お客さまの今後の動向を注視する必要があると考えています。

15.3期第2四半期実績 I

連結:億円			()内は連単倍率		C. 15.3期 2Q見通し※1	見通し比 (A-C)/C	
	A. 15.3期2Q	B. 14.3期2Q	前年差 A-B	前年比 (A-B)/B			
売上高	(1.22) 6,976	(1.23) 6,703	+273	+4.1%	7,100	-1.7%	
営業利益	(1.31) 538	(1.58) 447	+90	+20.2%	460	+17.0%	
経常利益	(1.25) 578	(1.46) 477	+101	+21.3%	485	+19.3%	
四半期純利益	(1.12) 475	(1.38) 316	+158	+50.1%	395	+20.3%	
SVA	315	237	+77	+32.9%	233	+34.7%	
		A. 15.3期2Q	B. 14.3期2Q	前年差 A-B	15.3期 2Q見通し※1	見通し差 A-C	
スライド差損益	億円	71		-96	+167	12	+59
原油価格 ※2	\$/bbl	109.5		107.7	+1.8	109.8	-0.3
為替レート	円/\$	103.0		98.9	+4.2	103.6	-0.6
連結子会社数		147		129	+18	---	---

※1 2014年7月29日公表値

※2 15.3期2Q原油価格実績は、9月速報値までの平均

SVA(Shareholders' value added)=NOPAT-投下資本×WACC

Design Your Energy 夢ある明日を

こちらには、2015年3月期 第2四半期の決算数値を、
まとめておりますので、ご確認下さい。

15.3期第2四半期実績 II

連結:億円	A. 15.3期 2Q末	14.3期 2Q末	B. 期末	A-B	備考
総資産	16,775	15,937	16,683	+92	固定資産の増加等
自己資本	8,328	7,986	7,989	+338	利益剰余金の増加等
有利子負債	5,683	5,424	5,735	-52	
在籍人員	21,395	20,212	21,250	+145	
自己資本比率	49.6%	50.1%	47.9%	+1.8%	
D/E比率	0.68	0.68	0.72	-0.04	
	A. 15.3期2Q	B. 14.3期2Q		A-B	備考
設備投資	558	570		-11	
減価償却費	428	410		+18	
フリーキャッシュフロー	368	321		+46	税引前利益の増加等
ROA	2.8%	2.0%		+0.8%	
ROE	5.8%	4.1%		+1.7%	
EPS (円/株)	22.8	15.2		+7.6	
BPS (円/株)	400.2	383.6		+16.6	

FCF=営業活動によるキャッシュフロー(税引後営業利益+減価償却費等非現金支出)－通常の設備投資による支出 Design Your Energy 夢ある明日を

7

 OSAKA GAS

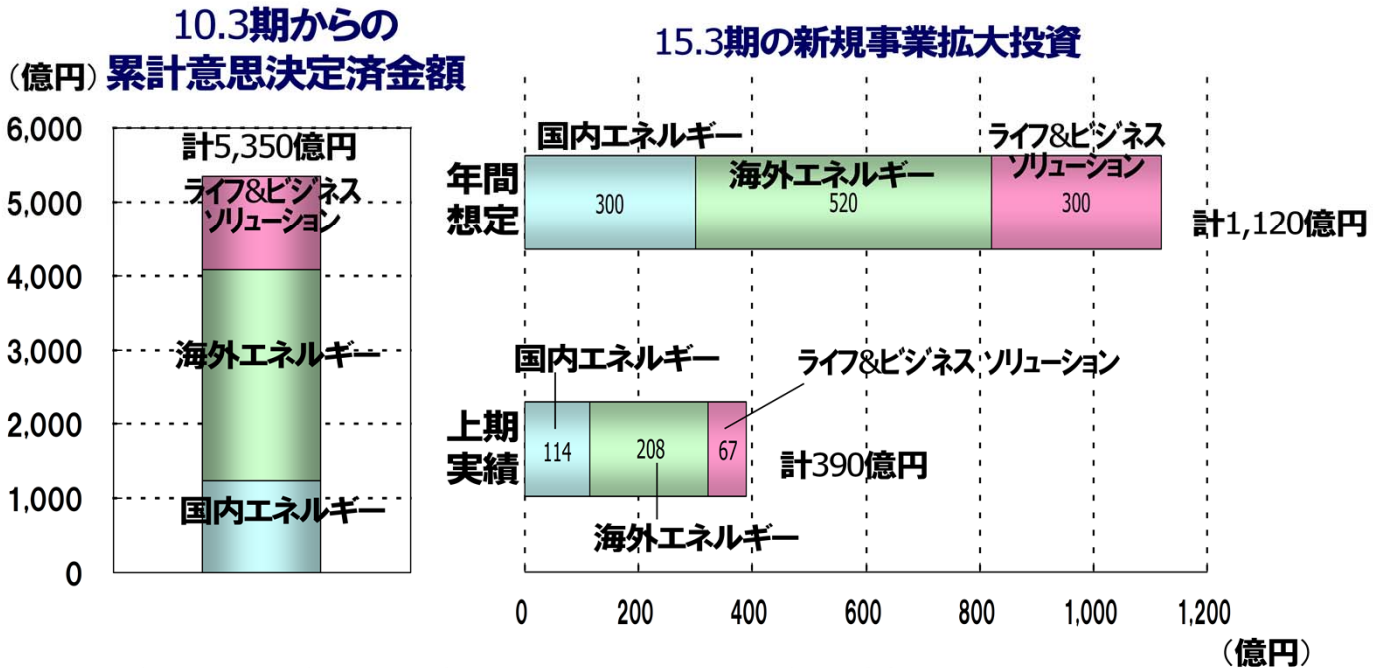
資産・負債項目や、主な財務指標の実績は、ご覧の通りです。

設備投資は、三重・滋賀ライン、姫路・岡山ラインが昨年度に開通したことにより基幹導管投資が減少する一方で、発電設備への投資が増加したことなどから、前年並みの558億円となりました。

ROA・ROEは、それぞれ前年を上回る2.8%、5.8%となりました。

15.3期第2四半期新規事業拡大投資実績

- 上半期は、意思決定済の国内電力事業案件、海外上流事業案件を中心に、計390億円の新規事業拡大投資を実行。
- 10.3期からの累計意思決定済金額は5,350億円(10.3期～21.3期計画額の47%)。



投資額には設備投資案件と投融資案件の両方を含むため、設備投資の実績値とは異なります。

Design Your Energy 夢ある明日を



新規事業拡大投資計画の進捗について、ご説明します。

上半期は、これまでに既に意思決定していた海外上流案件、国内電力事業案件を中心に、計390億円の投資を実行しました。

また、2009年4月から5年半での累計意思決定金額は5,350億円となりました。

引き続き、成長のための投資を進めてまいります。

なお、フリーポート液化プロジェクトにおいて当社が出資を予定している第一系列について、近日中に、プロジェクト会社が、国際協力銀行及び民間金融機関と融資契約を締結する見通しです。

また、米国エネルギー省(DOE)からの最終輸出許可が下りた後に、銀行団からの初回借入れに合わせて当社からの出資を実行し、プロジェクトの建設を開始する予定です。

当社は、事業運営に直接参画することによりプロジェクトを確実に立ち上げ、2018年のLNG出荷開始を目指してまいります。

15.3期見通し 修正のポイント

		今回見通し	7/29見通し	差	備考
下期の 前提諸元	原油価格 \$/bbl	105	110	-5	
	為替レート 円/\$	110	105	+5	
個別ガス 販売量 (百万m ³) (45MJ/m ³)	家庭用	(1,418)	(1,418)	(0)	下期は 前回見通しの通り
		2,203	2,215	-12	
	業務用 その他	(3,116)	(3,154)	(-38)	お客さま設備の稼働 減少等を織り込み
	6,127	6,237	-110		
収支 (億円)	連結売上高	15,815	16,055	-240	
	ガス粗利	3,310	3,350	-40	ガス販売量の減少、 スライド差益の縮小等
	営雑・附帯利益	387	352	+35	電力事業利益の増加
	労務費・諸経費・ 減価償却費	3,077	3,082	-5	
	関係会社利益	360	375	-15	
	連結営業利益	980	995	-15	
	連結営業外収支	20	5	+15	持分法投資利益の増加等
	連結経常利益	1,000	1,000	±0	

(注)ガス販売量の上段()内は、15.3期下期の数値(内数)

9

Design Your Energy 夢ある明日を
OSAKA GAS

続いて、2015年3月期通期の見通しについて、ご説明します。

まず、下期の前提諸元については、足元の状況などを反映し、原油価格を1バレル105ドル、為替レートを1ドル110円としています。

ガス販売量は、下期の家庭用を当初見通しの通りとする一方で、業務用その他では、お客さま設備の稼働減少などが下期も続くとして、前回見通しを3,800万m³下回ると想定しています。

連結経常利益につきましては、ガス販売量の減少やスライド差益の縮小などに伴い、ガス粗利益が減少すると想定する一方で、電力事業利益の増加などを見込み、前回見通し通りの1,000億円を想定しています。

15.3期ガス販売見通し

45MJ/m ³		A. 15.3期 見通し	B. 14.3期 実績	前年差 A-B	前年比 (A-B)/B
個 別	お客さま数(千件)	7,162	7,136	+27	+0.4%
	新設工事件数(千件)	106	102	+3	+3.4%
	家庭用1戸当り販売量(m ³ /月)	31.2	31.3	-0.1	-0.2%
	家庭用	2,203	2,198	+5	+0.2%
	商・公・医療用	1,449	1,528	-79	-5.2%
	工業用	4,200	4,329	-129	-3.0%
	業務用計	5,649	5,856	-208	-3.5%
	他ガス事業者向け	478	469	+9	+1.9%
	(うち大口供給)	(4,819)	(4,988)	(-169)	(-3.4%)
	ガス販売量合計(百万m ³)	8,330	8,524	-194	-2.3%
連結ガス販売量	8,361	8,554	-194	-2.3%	

Design Your Energy 夢ある明日を

OSAKA GAS

こちらには、通期のガス販売量の見通しを、前年と比較して整理しています。

家庭用は、ほぼ前年並みの22億300万m³、
 商業用・公用・医療用は、前年を5.2%下回る14億4,900万m³、
 工業用は、前年を3.0%下回る42億m³、
 連結ガス販売量は合計で、
 前年を2.3%下回る83億6,100万m³となる見通しです。

15.3期見通し I

()内は連単倍率

連結:億円	A. 15.3期 見通し	B. 14.3期 実績	前年差 A-B	前年比 (A-B)/B
売上高	(1.24) 15,815	(1.24) 15,125	+689	+4.6%
営業利益	(1.58) 980	(1.64) 993	-13	-1.4%
経常利益	(1.48) 1,000	(1.53) 1,060	-60	-5.7%
当期純利益	(1.30) 740	(1.67) 417	+322	+77.3%
SVA ※1	415	30	+385	+1285.6%
スライド差損益 億円	36	-205	+242	
原油価格 ※2 \$/bbl	107.3	110.0	-2.7	
為替レート ※2 円/\$	106.5	100.2	+6.3	

※1 SVA(Shareholders' value added)=NOPAT- 投下資本×WACC

※2 2014年10月～2015年3月の前提は、原油価格105\$/bbl、為替レート110円/\$

Design Your Energy 夢ある明日を

OSAKA GAS

こちらに、通期の収支見通しを、前年と比較して整理しております。

売上高は、前年を4.6%上回る1兆5,815億円、
営業利益が、前年を1.4%下回る980億円、
経常利益が、前年を5.7%下回る1,000億円となる見通しです。

15.3期見通し II

連結:億円	A. 15.3末見通し	B. 14.3末実績	A-B
総資産	17,899	16,683	+1,215
自己資本	8,327	7,989	+337
有利子負債	6,604	5,735	+868
在籍人員	21,448	21,250	+198
自己資本比率	46.5%	47.9%	-1.4%
D/E比率	0.79	0.72	+0.08
	A. 15.3期見通し	B. 14.3期実績	A-B
設備投資	1,280	1,241	+39
減価償却費	853	838	+15
フリーキャッシュフロー	898	1,131	-233
ROA	4.3%	2.6%	+1.7%
ROE	9.1%	5.4%	+3.7%
EPS (円/株)	35.6	20.0	+15.5
BPS (円/株)	400.1	383.9	+16.2

FCF=営業活動によるキャッシュフロー(税引後営業利益+減価償却費等非現金支出)－通常の設備投資による支出 Design Your Energy 夢ある明日を

12

 OSAKA GAS

最後になりますが、資産・負債項目や、主な財務指標の見通しを、こちらに、まとめておりますので、ご確認下さい。

通期のROA・ROEは、それぞれ、4.3%、9.1%となる見通しです。

お手元には、ご参考資料として、さらに詳細な、決算の差異分析資料や、セグメント別内訳などの資料を付けておりますので、あわせてご覧下さい。

当社は、2012年2月の料金改定以降、経営効率化に努めてまいりました。前回から概ね3年を迎えることから、経営効率化の成果をお客さまに還元すべく、できるだけ早いタイミングでのガス料金引下げについて具体的な検討を始めております。

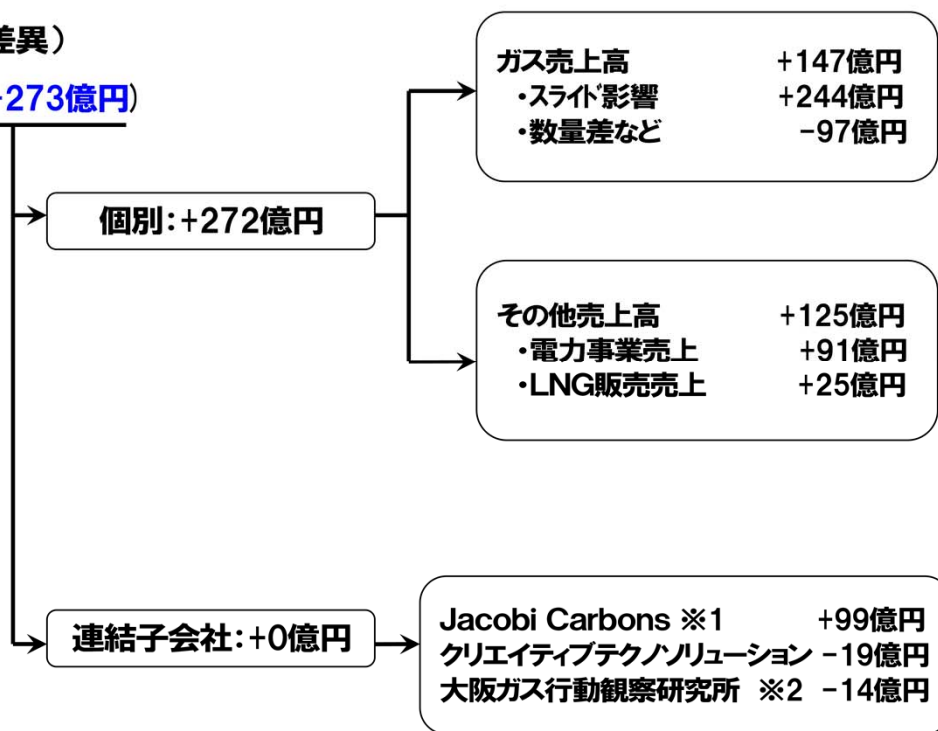
以上で、私からの説明を終わらせていただきます。
ありがとうございました。

II. 参考資料

15.3期第2四半期の売上高差異(対前年同期)

14.3期2Q → 15.3期2Q (差異)

6,703億円 6,976億円 (+273億円)



※1 2014年1月に買収した活性炭事業会社

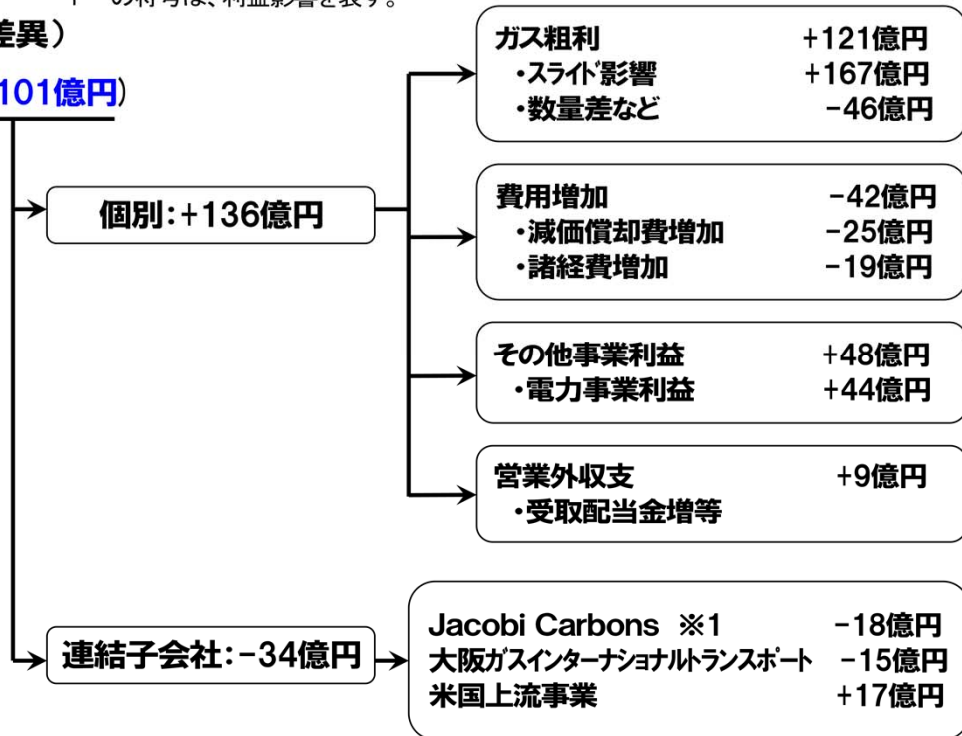
※2 2014年6月にフリーペーパー事業等を売却し、エルネットより社名変更

15.3期第2四半期の経常利益差異(対前年同期)

+-の符号は、利益影響を表す。

14.3期2Q → 15.3期2Q (差異)

477億円 578億円 (+101億円)

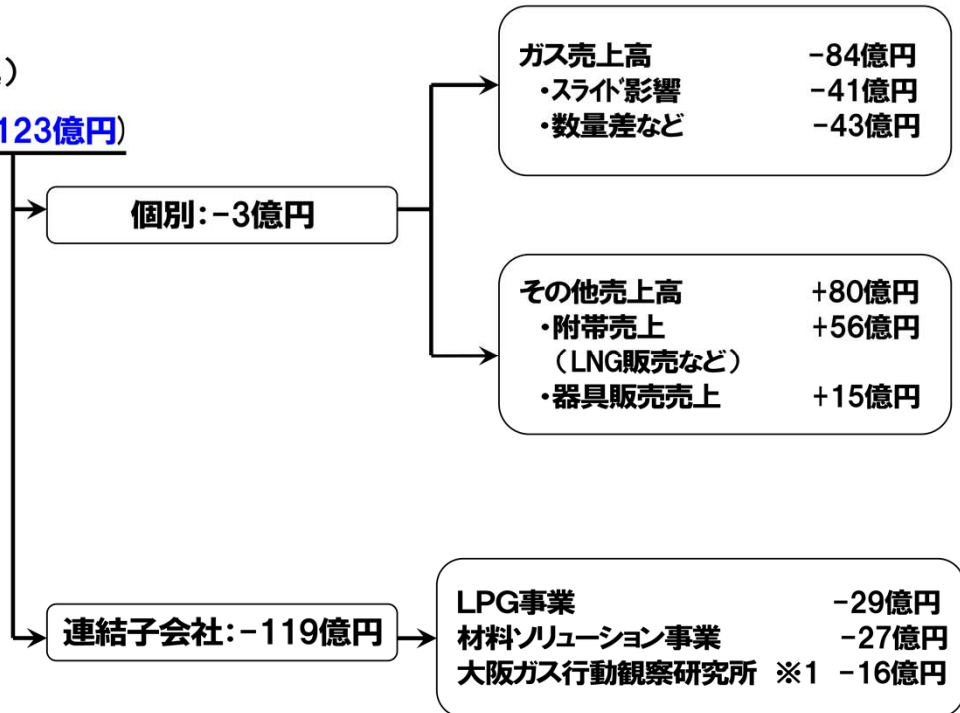


※1 2014年1月に買収した活性炭事業会社のれん償却費、棚卸資産のステップアップ(時価評価に伴う増加)による一時的費用増等を含めた連結利益への影響額を記載

Design Your Energy 夢ある明日を

15.3期第2四半期の売上高差異(対見通し)

15.3期 2Q見通し → 15.3期 2Q実績(差異)
 7,100億円 6,976億円 (-123億円)

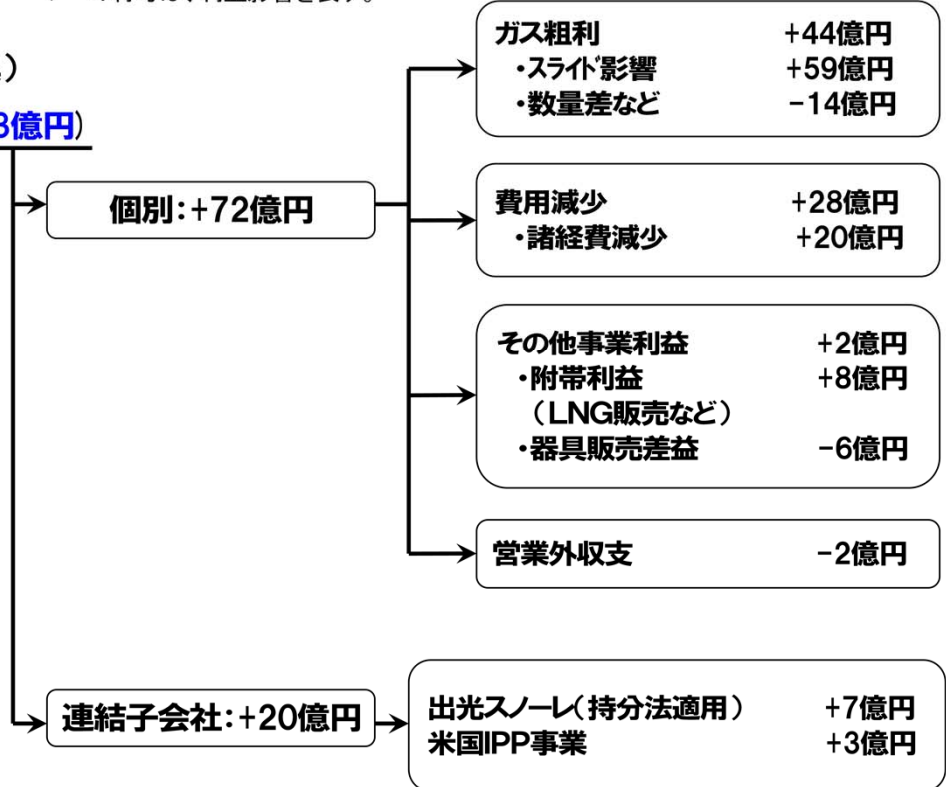


※1 2014年6月にフリーペーパー事業等を売却し、エルネットより社名変更

15.3期第2四半期の経常利益差異(対見通し)

+-の符号は、利益影響を表す。

15.3期
2Q見通し → 15.3期
2Q実績(差異)
485億円 578億円(+93億円)



Design Your Energy 夢ある明日を



セグメント別実績

単位:億円	売上高		セグメント利益(*)		備考
	15.3期 2Q	14.3期 2Q (**)	15.3期 2Q	14.3期 2Q (**)	
ガス	5,103	4,967	212	143	売上:ガス販売単価の上昇 利益:スライド差損が解消
LPG・電力・ その他エネルギー	1,194	1,145	257	220	売上・利益:電力事業等で増加 電力事業利益(***) 14.3 2Q 158億円 15.3 2Q 202億円
海外エネルギー	65	60	49	33	利益:米国上流事業 減価償却費減
ライフ&ビジネス ソリューション	933	868	53	79	売上・利益:Jacobi Carbons新規連結 の影響(一時的費用増等により減益)
消去又は全社	-320	-339	12	13	
連結	6,976	6,703	586	489	

<再生可能エネルギー事業の取扱い>

14.3期まで:「環境・非エネルギーセグメント」→15.3期以降:事業内容に応じ、「LPG・電力・その他エネルギーセグメント」「海外エネルギーセグメント」に移管

<セグメント名称の変更>

15.3期以降:「環境・非エネルギーセグメント」の名称を「ライフ&ビジネス ソリューションセグメント」に変更

(*)セグメント利益=営業利益+持分法投資損益、(**)14.3期実績を上記新基準に組み替えた値、(***)電力事業利益は、大阪ガス附帯電力事業の営業利益を表示

Design Your Energy 夢ある明日を

セグメント別見通し

単位:億円	売上高		セグメント利益(*)		備考
	15.3期 見通し	14.3期 実績 (**)	15.3期 見通し	14.3期 実績 (**)	
ガス	11,400	11,195	345	320	売上:ガス販売単価の上昇 利益:スライド差損が解消
LPG・電力・ その他エネルギー	3,010	2,610	420	453	売上:電力事業、LNG販売等で増加 利益:電力事業、LPG事業等で減少
海外エネルギー	170	133	95	82	利益:米国上流事業 減価償却費減
ライフ&ビジネス ソリューション	2,120	1,965	170	188	売上・利益:Jacobi Carbons新規連結 の影響(一時的費用増等により減益)
消去又は全社	-885	-779	20	27	
連結	15,815	15,125	1,050	1,072	

<再生可能エネルギー事業の取扱い>

14.3期まで:「環境・非エネルギーセグメント」→15.3期以降:事業内容に応じ、「LPG・電力・その他エネルギーセグメント」「海外エネルギーセグメント」に移管

<セグメント名称の変更>

15.3期以降:「環境・非エネルギーセグメント」の名称を「ライフ&ビジネス ソリューションセグメント」に変更

(*)セグメント利益=営業利益+持分法投資損益、(**)14.3期実績を上記新基準に組み替えた値

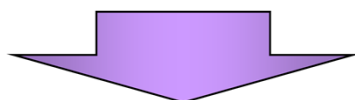
Design Your Energy 夢ある明日を

 OSAKA GAS

家庭用ガス販売

15.3期2Q実績

	対前期	備考
調定件数	+0.5%	
気水温影響	+0.4%	平均気温23.0度(対前期-0.7度)
その他	-1.5%	ガス機器の高効率化、お客さまの省エネルギー推進等
合計	-0.6%	



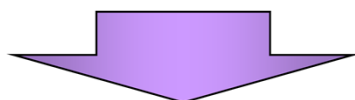
15.3期通期見通し

- 上期は、見通しを12百万m³下回った。
- 下期は、見通し通りで想定。
- 通期では、見通しを12百万m³下回り、対前期5百万m³増の2,203百万m³と想定。

商公医療用ガス販売

15.3期2Q実績

	対前期	備考
需要開発	+1.9%	空調需要を中心とした新規開拓
気温影響など	-4.4%	夏場の低気温による冷房需要の減少
その他	-3.2%	ガス機器の高効率化、お客さまの省エネルギー推進等
合計	-5.7%	



15.3期通期見通し

- 上期は、見通しを10百万m³下回った。
- 下期は、見通しを2百万m³下回ると想定。
- 通期では、見通しを12百万m³下回り、対前期79百万m³減の1,449百万m³と想定。

Design Your Energy 夢ある明日を

OSAKA GAS

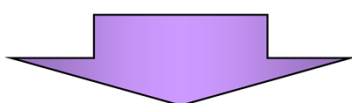
工業用ガス販売

15.3期2Q実績

	対前期	備考
需要開発	+1.2%	他燃料からのガス転換等
稼働増減 など	-4.6%	一部のIPPの自社電源化、 お客さま設備の稼働減少等
合計	-3.4%	

主な業種別実績 (45MJ, 百万m³)

	販売量	対前期比
機械	160	95.1%
金属	504	102.3%
ガラス	153	88.4%
化学	608	97.3%
食品	257	99.8%



15.3期通期見通し

- 上期は見通しを60百万m³下回った。
- 下期も、上期実績を踏まえた下ぶれ(-37百万m³)を織り込み、通期では、見通しを97百万m³下回り、対前期129百万m³減の4,200百万m³と想定。

Design Your Energy 夢ある明日を

15.3期月次ガス販売の推移

前年同月比 (%)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期累計
家庭用		99.9	91.5	101.6	99.8	105.4	108.8	99.4
商・公・医療用		98.0	95.0	95.8	94.9	93.5	90.7	94.3
工業用		97.4	97.4	101.6	93.3	94.7	95.8	96.6
業 種 別	機械	92.3	93.3	104.3	92.1	92.5	97.4	95.1
	金属	102.3	101.7	110.4	100.8	100.2	98.8	102.3
	ガラス	90.9	89.6	87.2	84.0	90.1	88.9	88.4
	化学	95.6	97.3	100.7	94.0	100.2	96.6	97.3
	食品	99.0	99.4	102.5	97.4	98.3	102.5	99.8
他ガス事業者向け		91.5	97.3	121.5	94.3	99.0	103.6	100.5
計		98.0	95.3	101.6	94.6	95.9	96.5	96.9

年度見通しに対するリスク要因

■ 気温・水温

- 気・水温1度の変化に対して、家庭用ガス販売量は、春秋期約5%・夏期約6%・冬期約4%変動する可能性がある。

■ 原油価格

- LNG価格が原油価格にリンクすることなどから、原油価格1\$/bblの変化に対して、今年度3Q以降の経常利益は9億円変動する可能性がある。

■ 為替レート

- LNG価格が米ドル・円の為替レートにリンクすることなどから、為替レート1円/\$の変化に対して、今年度3Q以降の経常利益は14億円変動する可能性がある。

■ 原料費

- 原料費調整制度によって、中長期的には原料費の変動はガス料金に転嫁されるが、反映までのタイムラグや原料調達先の構成によって、業績に影響を与える可能性がある。

■ 金利

- 金利1%の変動に対して、今年度の連結営業外費用が年間7億円変動する可能性がある。